

2019年12月25日

宮崎県における観光型 MaaS 実証実験実行委員会

事務局：九州旅客鉄道株式会社

宮交ホールディングス株式会社

宮崎県における「観光型 MaaS（マース）」

実証実験に向けて実行委員会を設立しました

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：青柳俊彦、本社：福岡市）及び、宮交ホールディングス株式会社（代表取締役社長：菊池克頼、本社：宮崎市）は、公共交通などの移動手段の利便性向上と地域観光資源の魅力向上を目的とした「宮崎県における観光型 MaaS 実証実験実行委員会」（委員長：田代 景三 宮交ホールディングス株式会社 執行役員経営企画部長、以下「実行委員会」）を設立しました。

今後は、委員会に参画する様々な関係団体と連携し、「観光型 MaaS」（※1）実証実験に向けた取り組みを進めて参ります。尚、詳細につきましては、決定次第改めてお知らせいたします。

（※1）「観光型 MaaS（=Mobility as a Service）」

スマートフォンなどを活用し、1つのアプリで観光エリアまでの複数の移動手段（航空、鉄道、高速バス、路線バス、タクシー、等）や商業施設などの情報検索・予約・決済等が可能なサービスを提供するもの

■ 実行委員会について

- （1） 設 立 日 2019年12月18日

- （2） 参画組織 宮交ホールディングス株式会社、九州旅客鉄道株式会社、
西日本鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、トヨタ自動車株式会社、
宮崎トヨタ自動車株式会社、宮崎交通株式会社、宮交タクシー株式会社、
宮崎県、宮崎県観光協会、宮崎市、宮崎市観光協会、日南市、
日南市観光協会、東急株式会社、九州運輸局、宮崎河川国道事務所、
宮崎運輸支局、宮崎大学（順不同）

- （3） 活動内容 実証実験の事業計画検討及び策定
地元企業等への周知及び事業促進
デジタルチケット等の商品造成
利用者拡大を目的とした宣伝・広報活動

■ 実証実験の概要について

- (1) 目的 旅行者や地域住民の宮崎県内のシームレスな移動の実現による利便性の向上、および周辺エリアにおける旅行者の滞在・周遊促進
- (2) 実施期間 2020年6月頃～半年程度（予定）
- (3) 対象地域 宮崎県宮崎市・日南市及びその近郊
- (4) 使用アプリ（予定） 「my route（マイルート）」※2
トヨタ自動車株式会社が開発したマルチモーダルモビリティサービス。本実行委員会の参画企業に関わるデジタル乗車券予約・アプリ内決済などの地域交通への対応を検討。更に、観光施設の入場券等のデジタルチケット販売も併せて検討していく。

(※2) 「my route（マイルート）」 … 公共交通、自動車、自転車、徒歩等、様々な移動手段を組み合わせたルート検索ができ、予約・決済まで含め、移動をサポートするサービス。
街中における「円滑な移動のサポート」や「街の賑わい創出」への貢献を目指す。